

ふる〜ぶ

吉野川ファン通信

VOL.101
2008/7

「ふる〜ぶ」はフランス語(fleuve)で海にそそぐ大河のことです。
ひと、まち、自然、歴史、風景などの吉野川をとりまく様々な表情をみなさんにお伝えします。



1
page

〔特集〕

吉野川アラカルト

地域防災へみんなで力をあわせよう
平成20年度

吉野川・那賀川合同水防演習

吉野川の洪水による水害の発生を未然に防止、軽減
することを目的に、5月25日(日)、約800人が参加し、
本番さながらに訓練が行われました。

3
page

過去から未来へ

NPO法人 美馬体験交流の会
田中 義美さん

4
page

ふる〜ぶ編集部がおじゃましま〜す!

山瀬小学校の巻

小さな節約 守ろう資源

「めざせ! ちきゅうをまもろうがっこう ナンバー1」

5
page

ふる〜ぶめいと通信

阿波葉

ふる〜ぶめいとリーダーミーティング

6
page

源流からの便り

源流から

ふる〜ぶ INFORMATION

吉野川にコアジサシが渡来しています
デコイ日記更新中!

7
page

よりよい吉野川づくり<第38回>

7月は、河川愛護月間 7月7日は、川の日
第7回「美しい山河」図画展

ふる〜ぶひ・ろ・ば

編集後記・プレゼント

ネジバナ「ラン科の多年草」

吉野川でも、群生しているのをよく見かけます。
ひとつひとつの花をみるとまさにラン科の植物です。
ぐるぐると螺旋階段のように回りながら
咲いている姿からこの名がついたといわれています。



地域防災へみんなで力をあわせよう

平成
20年度

吉野川・那賀川合同水防演習

平成20年5月25日(日)

吉野川大橋下流南岸河川敷(徳島市住吉4丁目地先)

自らの安全は自ら守る「**自助**」
地域住民が協力して守る「**共助**」
行政機関や公共企業などが守る「**公助**」
あなたにできる備えと行動を学びましょう。



吉野川の洪水による水害の発生を未然に防止、軽減することを目的に、国、県、市町、水防団等をはじめとする関係機関および、自主防災組織、徳島大学など約800人が参加し、本番さながらに訓練が行われました。

当日は、台風による洪水を想定し、刻々と変化する状況に合わせて、さまざまな水防活動が行われました。



水防活動に必要な杭を作るため、丸太の先を尖らせる杭ごしらえの作業です。



洪水の際、堤防の居住側に水が吹き出し、その吹き出し口が拡大されるのを防ぐため、土のうを積んで水の圧力を弱める水防工法、月の輪工を行っています。



今回初めて、この水防演習に参加した徳島大学工学部 建設工学科3年生と2年生 42名。
川側の崩壊と漏水を防ぐため、堤防にシートを張るシート張り工を行っています。

さまざまな 体験コーナー

楽しく防災について学べる体験コーナーには、約800人が訪れ、土のう作りや、水防工法の基本ともいべきロープワークを体験しました。もちろん、編集部もチャレンジ!

ロープ ワーク 体験

水防工法の基本となるものが、ロープワークです。紐の結び方が出来ないことには、水防工法は成り立ちません。避難する時お互いの身体を縛り離れないようにしたり、おぼれた人を救助するためのロープの使い方など、いざというときの避難や救助に役立ちます。



「ロープワークは、難しかったですけど、結び方によっては命が助かるということが分かりました。でも、これを実践できるかどうかが大切なので、忘れないようにしたいです」また、さまざまな体験コーナーについても、「具体的なイメージが分かったのが良かったです。天気予報で1時間に30mmということを知っていても、どれくらいの雨なのか分からなかったけど、降雨体験で実感することができて良かったです」と話してくれました。

土のう 作り

洪水の時、川の水があふれるのを防ぐため、堤防などに積む土のう作りは、水防の基本というべきもの。土のう作りは、二人一組で、一人が土のう袋の口を開けておき、もう一人がスコップで土を入れていきます。今回体験した土のうは、15kgですが、それでも、重たくな

かなか持つことが出来ませんでした。実際の重さは、30kgから40kgにもなります。腰を痛めないように、土のう袋の紐を持つのではなく、口の部分に手を添えて、袋の下を持つのがポイントだそうです。

一刻一秒を争う状況では、より迅速な作業をしなくてはならないことを感じました。



お父さんときていた小学生。前から、水防に関心があり、いろいろと勉強したいと思ってきたそうです。

水中歩行・ 水没ドア 開閉体験

浸水した道路を歩く際、水深60cm、流れの速さが毎秒3mになると、大人でも歩くことが困難だといわれています。

見た目は、それほどでもない水の流れも、実際歩いてみると、重い水が足にまとわりついてくるようで、なかなか

か前に進むことができませんでした。水の流れは見た目以上に速いのだということが実感できました。また、今回初めて訓練に取り入れられた水没ドアの開閉体験ですが、「誰かが抑えているの?」というぐらい、普段の力では開きませんでした。



多くの親子連れの方が体験していました。水没ドア開閉では、「これは、子どもの力ではムリですね」と話してくれた方もいました。

「普段から、いろいろな勉強会に参加したり、防災マップを作ったりしています。我々自主防災組織が演習に参加できる機会はなかなかないので、大変いい機会になりました。今後の防災活動に大いに役立つと思います」と語

ってくださった自主防災組織の方、また、「雨が深い地域なので」「最近、いろいろな災害も多いので」「子どもが行きたいといったので」など、会場にいられた見学者の方々のきっかけはさまざまです。しかし、今回訓練に参加

した方だけでなく、『水防』は、全ての人の身近な問題です。

ハザードマップを見る、避難経路を家族と相談するなど、まず家庭で出来る防災を考えてみませんか?



河川に関するさまざまな防災情報は、
国土交通省川の防災情報でチェック!
<http://www.river.go.jp/>



携帯電話でチェックすることもできます。
国土交通省河川局 川の防災情報
<http://i.river.go.jp/>



過去から 未来へ

ふる～ぶが100号を迎えた記念の年として、
取材した方々に再登場していただき、お話を伺っていきます。



四国三郎の郷を拠点に 活動を広げる

NPO法人 美馬体験交流の会 理事長

田中 義美さん

前回登場していただいたのはVOL.77



吉野川中流のまち美馬市を拠点とし、吉野川沿いの竹林を利用したのまちづくり、学校での竹を使った授業、農業体験などの活動を繰り広げている美馬体験交流の会。2年前に取材を行った時には、活動が始まって1年という頃で、美馬体験交流の会独自の活動が中心でした。

現在では、地域や他のNPOとともに協力して、美馬市の幅広い地域で取り組むことが多くなり、その代表例が美馬市全体として取り組んでいる「ふるさとづくり」です。その活動は、「農林漁業に関連した農山漁村の伝統文化の保全、復活等に向けた活動」「個性的で魅力ある地域固有の風景づくり等」「農山漁村に存在する地域資源を活用した村おこしに係る活動」を柱として、美馬体験交流の会が主幹となり、来年度に完成が



堆肥などに有効利用できる竹チップ



竹チップ機を使っての竹チップ製造

園の造成、吉野川沿いの水防竹林を使った竹炭や竹チップの製造など多岐にわたっています。「いろいろな

団体との連携が大切なんよ。若いメンバーから熟練世代まで、協力することでまちが活発になるし、おもしろくなるけん」と田中さん。7月20日(日)には、美馬市の四国三郎の郷で初の開催となる小柳ゆきやSHEENA&ROCKETSなど人気アーティストが参加する「DRAGON FACTORY FESTIVAL」、また、8月30・31日には、今年で3回目の開催となる「四国三郎の郷サマーフェスティバル」、

人気のカヌー体験や農業体験、竹細工などをはじめ、大学生が実行委員となりヒップホップ



竹炭製造機を使っての竹炭製造



できあがった竹炭

系ダンスの四国大会も企画されています。このように、若い世代のアイデアもどんどん取り入れられています。

「ふるさとをよくしたい。その思いは年齢関係ないけ

んな」と話していたのが印象的でした。これからも、勢力的に活動が続けられていきます。



四国三郎の郷 吉野川でのカヌー体験



小学校に竹細工の指導に行くために吉野川沿いで竹を伐採

(写真提供: 美馬体験交流の会)

学 ふる〜ぶ 編集部が おじゃまします!



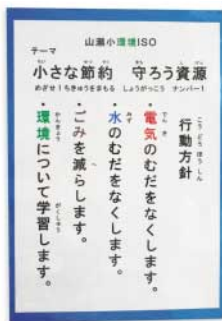
吉野川が近くに流れ、高越山も望めることができる吉野川市立山瀬小学校。周辺には水辺の楽校山川バンブーパークもあり、自然豊かな地域で、のびのびと学習しています。

山瀬小学校で、平成19年度から取り組んでいるのが*学校版環境ISOです。学校が掲げている「小さな節約 守ろう資源」と「めざせ! ちきゅうをまもろうがっこうナンバー1」は、子どもたちが環境ISOに取り組んでいくためにテーマを募集し、学校独自のテーマとして決定しました。このテーマのもと「●電気のもだをなくします。●水のもだをなくします。●ごみを減らします。●環境について学習します。」の4つを行動方針として、全員で取り組んでいます。

編集部が訪れたのが、5月30日。全校児童259人で、毎年の恒例行事となっている530(ゴミゼロ)運動に取り組んでいた日でした。学年ごとではなく、同じ地域の児童のグループに分かれ、自分たちの通学路に沿ってゴミを拾ったり、草を抜いたりしました。また、学校の目の前を流れるほたる川沿いに、ペットボトルや空き缶などを熱心に拾っていき、「ゴミが少なくなると気持ちがいい」「自分が通っている通学路がきれいにな



530運動にて



学校のいたるところで掲示

水や電気の使用量など分かりやすくグラフにして節約をよびかけ(写真提供:山瀬小学校)

*学校版環境ISO…ISO14001などの環境規格を参考に、子どもたちがごみ減量や省エネルギーなど、環境に関する目標をたて、成果をチェックしながら、地球を守る活動に継続的に取り組んでいくもの。



ボランティア委員会のメンバー。530運動の後、にっこり笑顔

「めざせ! ちきゅうをまもろうがっこうナンバー1」ってうれしい」と話していました。この日、中心となって説明をしたり、集まったゴミをきれいに分別したりしていたのが、5・6年生で構成されたボランティア委員会8人のメンバーです。環境ISOの活動を進めるための行動方針の発表や、テーマの募集などをはじめ、毎朝交代で学校の玄関の清掃を行うなど、全校児童のリーダー的存在となっています。今年度からの新しい取り組みである「ゴミの分別をきちんと



委員会が交代で行っている朝の清掃(写真提供:山瀬小学校)



人権の花運動で、緑のカーテンとしても知られているゴーヤの苗を植えました(写真提供:山瀬小学校)

しよう」など毎月の目標も委員会で相談して決定しています。「地球を守っていくためにしてるんよ」「朝、掃除していて、友達が手伝ってくれたり、ありがとうって言ってくれたらうれしい」「水も使わないときは止めたり、部屋の電気もきちんと消すようになったよ」と笑顔で話してくれました。環境ISOの活動は環境にやさしいだけでなく、子どもたちの心も豊かにしていくんだと改めて感じました。これからも小さな節約からはじまる地球を守る活動が続けられていきます。

子どもエコ標語 子どもたちが環境について考え作った標語の一部です。

「エコバッグ 胸を張って レジに出す」
「ねる前に 電気を消して回る エコレンジャー」



「ふる～ぶめいと」の活動は、吉野川や吉野川流域に関する身近な情報を「ふる～ぶ」に提供することにより、吉野川に親しみや、関心を持っていただいて、吉野川ファンの輪を広げていただくことを目的にしています。

めいと レポート 阿波葉 つるぎ町 大塩 邦光さん

四月になると、県西部の山間部では、阿波葉^{あわは}の植付けが始まり、五月になると畑一面が緑の幾何学的模様になる。

徳島県のたばこ作りは、四百年以上前から始まったといわれている。藩政時代には美馬郡から、藩主に年貢物として納められた。

現在では、県西部の山間部で阿波葉として作付けされている。戦後は換金作物として盛んに作られた。農家にとっては重労働であった冬場の堆肥作りから始まり、苗床作り、種まき、移植、植え付け検査、虫退治、芯止め、芽かきと続いた。夏の土用に入ると、炎天下で収穫と乾燥が最盛期に入る。その後、煙草のし、収納調理、^{こも}^{よう}検査、宵出し、



配列鑑査で納付が終わる。特に宵出しは自動車のない時代は、一家総出で学生も荷を背負って親といっしょに山道を行く重労働であった。

しかし、阿波葉作りも来年で終わると聞くと、苦しかったが、活気のあった時代を懐かしく思う。

ふる～ぶめいとリーダーミーティング

5月15日 道の駅 貞光ゆうゆう館

平成20年度の活動について話しあうふる～ぶめいとリーダーミーティングが、貞光ゆうゆう館で開催されました。

昨年開催した、ふる～ぶめいとリーダーが学校を訪問して吉野川の竹を使った竹細工などを子どもたちに教え、より吉野川に親しみを持っていただく『川はともだち』は、本年度も開催されることとなり、竹細工だけでなく、吉野川を歩いて自然に親しむなどいろいろなプログラムについても、実施できる可能性があることなどを話しあいました。



ンアート教室を開催することをご報告しました。

イベントについては、このページで随時ご紹介していきます。

また、今年も吉野川フェスティバルで、編集部がストー



源流域からの便り

第1便

このコーナーでは、吉野川源流域に住む方々に暮らしや四季のうつろいを、綴っていただきます。

源流から

吉野川の源流点は、かつて土佐郡本川村にありました。現在は市町村合併により吾川郡いの町となり、源流点の場所が変わったわけではありませんが、昔から大川本川といえば、共に吉野川源流に暮らしているという絆のよなものがありましたので、遠く離れた気がして、少し寂しさを感じています。

大川村の人口は僅か500人足らず、点在する集落は世間という限界集落になりつつあります。若者は少なく、元氣のある高齢者の方々と助け合って暮らしています。

例えば生活用水は、自分たちで協力しあい山の湧き水をホースで分け合いながら、飲んでいきます。平成の世になった今でも公共用水は整備されておりません。皆さんには、信じられないことでしょうかが現実なのです。ですが、これはこれで美味しい水を飲んでいるし、一番先に吉野川の大河の一滴を私たちが飲んでいるというこ



とで苦労はありますがよしとしましょう。
春には花を愛で、初夏には新緑の風に吹かれ、夏には吉野川に降りて水遊びをしたそんな幼い日々の思い出は、この川と関わり生きてきた人々のひとりの思い出にしか過ぎません。

星の瞬きが聞こえるような夜空や風の音、鳥の声、川の音ぐらいいしか音のするものが無い。そんなところが好きだからこそこを離れられないのかもしれない。源流の里から今此処から始まる吉野川の物語を私も楽しみにしています。

大川村 和田和子

和田和子さん

高知県大川村在住
大川村特産品の創作や、地域振興などに取り組む。

ふるぶ3姉妹の Information

吉野川にコアジサシが渡来しています。デコイ日記更新中!

報告

徳島河川国道事務所と徳島県の共催による、平成19年度第7回吉野川現地(フィールド)講座で、平成20年3月30日にコアジサシ(環境省レッドデータブック:絶滅危惧II類)のデコイ(模型)の作成、4月13日に第二弾として、石井町の六条大橋付近の河原にデコイの設置が行われました。(ふるぶ100号でも紹介)その後、定期的に、コアジサシの渡来状況、営巣状況、デコイ状況についての調査が徳島河川国道事務所で行われています。その途中結果について紹介されているのが、徳島河川国道事務所のホームページにある「デコイ日記」です。



「デコイ日記」では、たくさんのコアジサシがデコイの近くに飛来してきたことも分かります。写真だけでなく、動画でも飛来の様子が紹介されています。徳島河川国道事務所では、今後も、定期的にコアジサシの観察を行い、デコイ日記で紹介していく予定です。みなさん是非「デコイ日記」にアクセスしてくださいね。

コアジサシに関する問い合わせ先
徳島河川国道事務所内
河川環境課 TEL(088)654-9176



コアジサシ

【デコイ日記 URL】 <http://www.toku-mlit.go.jp/koajisashi/koajisashi.html>

～川が好き 川にうつった 空も好き～

7月は、河川愛護月間 7月7日は、川の日。みんなで川に親しみ、川をきれいにしましょう

徳島河川国道事務所では、策定に向けて取り組んでいる「吉野川水系河川整備計画」のなかで、将来を担う子どもたちへの積極的な支援や、地域住民との連携活動などを行っています。

国土交通省では、河川や水辺に親しみ、流域の良好な河川環境の保全・再生を積極的に推進していくことを目的に、毎年7月1日から31日までを河川愛護月間と定め、河川愛護活動を実施しています。

吉野川一斉清掃

少雨
決行

- 7月6日(日) AM7:00～9:00頃
- 吉野川河口～三好市池田町、旧吉野川、今切川

当日の朝、堤防にたててある旗を目印にお越しください。集合時間などは、担当課までお問い合わせをお願いします。



国土交通省 徳島河川国道事務所
河川占用調整課 TEL(088)654-9270

吉野川流域一斉水質調査

- 7月27日(日)
- 吉野川流域のすべての川

お申し込みいただいたみなさんにより、調査キットを使って、吉野川流域すべての川において、簡易水質調査(pH.COD)を行います。



*7月15日(必着)まで、ハガキまたはHPでの申し込みを受け付けています。

国土交通省 徳島河川国道事務所
地域連携課 TEL(088)654-9175

水生生物調査

吉野川の水質についてサワガニ、カワゲラ、トビケラなどの水生生物の生息状況を調査することにより、川のきれいさを簡易に評価します。



- 7月3日(木)PM:穴吹新橋(美馬市穴吹町)
- 7月23日(水)AM:学島橋上流(吉野川市川島町)
PM:西条大橋上流(阿波市吉野町)
- 7月30日(水)AM:角の瀬大橋上流(三好郡東みよし町)
PM:美馬橋下流(美馬郡つるぎ町)

第7回「美しい山河」図画展

河川環境と河川愛護の意識を高めていただくため、吉野川、那賀川沿川の市町村の小学生を対象にした「美しい山河」をテーマにした図画の展示を行っています。ぜひ、ご来場ください。

7月25日(金)～7月28日(月)

阿南ショッピングプラザアピカ

四事務所の優秀作および那賀川河川事務所の全作品を展示。

8月9日(土)～8月17日(日)

霧の森茶フェ

四事務所の優秀作および柳瀬ダム管理所の全作品を展示予定。

7月30日(水)～8月7日(木)

道の駅貞光ゆうゆう館ギャラリー

四事務所の優秀作および徳島河川国道事務所の入選、佳作、特別賞を展示。

8月19日(火)～8月22日(金)

早明浦ダムふれあいホール

四事務所の優秀作および四国山地砂防事務所・吉野川ダム統合管理事務所の入選、佳作を展示。



8月26日(火)～8月29日(金)

徳島市役所 国際親善コーナー

四事務所の優秀作および徳島河川国道事務所の入選、佳作、特別賞を展示。

[主催] 四国地方整備局

徳島河川国道事務所
那賀川河川事務所
四国山地砂防事務所
吉野川ダム統合管理事務所

お問い合わせ

国土交通省 徳島河川国道事務所 河川占用調整課
TEL(088)654-9270

よりよい吉野川づくり 吉野川河川整備計画については <http://www.yoshinoriver.info>

ふる～ぶ

ふる～ぶ編集後記



今回訪れた山瀬小学校では、子どもたちが自分たちの活動に誇りをもって取り組んでいるのが印象的でした。ゴミの分別や、清掃も笑顔で取り組んでいました。私も見習わなくては。(や)



これから、水に親しむにはいい季節です。吉野川流域各地では、川でさまざまなイベントも開催されます。7月は、河川愛護月間でもあります。この機会に川に近づいてみませんか？(か)



お手玉プレゼント

ふる～ぶめいとリーダー上田佳穂さんからいただいたお手玉(6個)を抽選で1名様にプレゼントします。ご希望の方は、ハガキまたはFAXに住所、氏名、電話番号、誌面の感想もお書きのうえ応募ください。締切は7月31日(木)です。それぞれ模様が違う手作りですので、発送の際には、写真とお手玉の模様が異なる場合もあります。プレゼント応募先 〒771-1156 徳島市応神町応神産業団地13-28 ふる～ぶ編集部「お手玉」プレゼント係



お詫びと訂正

VOL.100のよりよい吉野川づくりのコーナーで、凡例の

----- 暫定施工箇所は、
----- H20年度施工箇所の誤りでした。

お詫びして訂正いたします。

ふる～ぶは、吉野川流域の市町村役場、図書館、博物館、公民館等の公共施設および道の駅、株式会社阿波銀行の一部の支店と株式会社ファミリーマートの一部の店舗に置かせていただいています。皆様ご愛読ください。